



JAPAN CANCER
SURVIVORS DAY
June 4, 2023

がん患者や、その家族のために支援情報を提供するイベント

ジャパン キャンサー サバイバーズ デイ 2023

JAPAN CANCER SURVIVORS DAY 2023

つながり支え合う

6月4日 日

11:00-15:00 (10:30開場)

国立がん研究センター 築地キャンパス 研究棟

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目1-1

がん患者や、そのご家族が必要な支援へたどり着けるように、日本各地で支援を誠実にやっている社会的に重要な役割を果たす患者会や支援団体を広くご紹介し、情報を提供するイベントです。講演やトークセッションを行い、約30の支援団体・企業がブースを出展します。6年目となる今年は会場とオンラインのハイブリッド開催です。



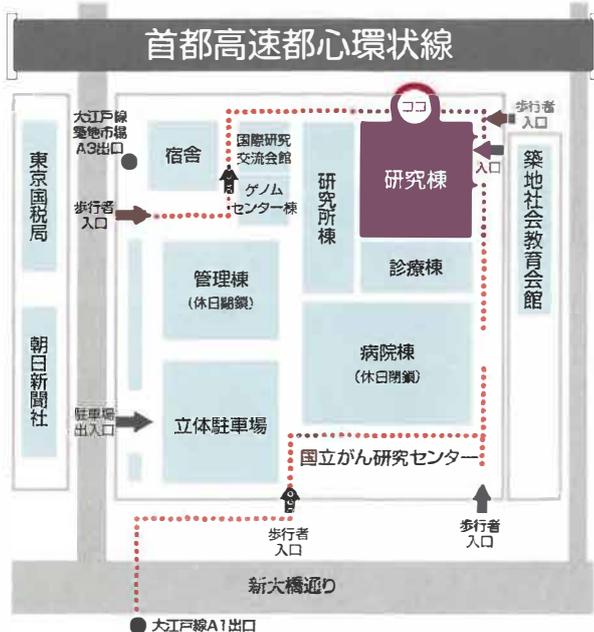
概要

- 定員** 会場 500名 オンライン 200名
- 対象** どなたでもご参加いただけます
- 主催** 公益財団法人日本対がん協会
がんサバイバー・クラブ
- 入退自由** ご自身の体調に合わせてください

会場

各交通機関からのアクセス

- 都営地下鉄 大江戸線 築地市場駅 A1 出口徒歩 3分
A3 出口徒歩 3分
- 東京メトロ 日比谷線 築地駅 2番出口 徒歩 5分
- 東京メトロ 日比谷線・都営地下鉄 浅草線 東銀座駅 6番出口 徒歩 6分
- 東京メトロ 有楽町線 新富町駅 4番出口 徒歩 9分



ご予約・詳細はこちらから

要予約 5月31日(水) 締切



大ホール	プログラム	出展ブース
10:30	開場 ブースエリアオープン	約30の患者会・支援団体・企業のブースを出展
11:00 5分	開会挨拶  日本対がん協会 会長 垣添 忠生	がん患者が直面する問題、悩みを解消すべく、さまざまな活動を行っている団体が一堂に会します。全てのブースを回るとプレゼントがあります！ 
11:05 30分	講演① 支えられる勇氣、支える心がまえ  がん患者にとっての3種類のソーシャルサポート 講師 保坂サイコオンコロジー・クリニック 院長 保坂 隆 先生	がん患者の周囲には、情緒的・手段的・情動的ソーシャルサポートという3種類の「支え・支えられる関係性」があります。家庭内でも、支えられてもいい患者にその勇氣がないと「申し訳ない」という罪悪感になり、支える心がまえがない家族は、「何をしてあげたらいいの？」と訊けないばかりに、沈黙してしまうようです。この関係性は生活すべてに大切なことであるが、がん患者の周囲を改めてこの関係性で見つめ直してみましょう。
11:35 30分	講演② 地域にあったがん治療・寄り添いのありかた  和歌山県立医科大学 外科学第一講座 谷野 裕一 先生	市民病院の11年間にNPO法人いきいき和歌山がんサポートを設立、ピアサポーターを育成し、病院スタッフと在宅スタッフのがん在宅診療の合同勉強会を行った。今で言うACPの開始であった。その後、北里大学、神戸大学、和歌山医大で実践してきたが、病院によって出来ることが異なった。国の施策やピアサポーターの成熟とともに、患者自身が希望する療養を受けられる素地は出来て来たが、地域差、病院格差があり、現在も医療者としてNPO理事長としてまだやらなければならないことが多いと感じている。
12:05 55分	ランチ休憩	各ブースに是非お立ち寄りください。大ホール内は飲食厳禁です。病院内のレストランやカフェ、総合受付横の休憩スペースをご利用ください。
13:00 40分	アドボケート活動助成の実行団体より 活動報告	
	① がんと運動と就労 (一般社団法人がんと働く応援団 / ReViv / ゆる ² トレ実行委員会)	③ リンパ浮腫と就労 (リンパ浮腫ネットワークジャパン (リンネット))
	② 地域のがんママを支える (がんを経験した女性のコミュニティ Colorful Ribbons)	④ AYA 世代に寄り添う (AYA GENERATION+group)
13:40 60分	講演③ +トークセッション テーマ: 「お互いさま」の関係を考える モデレーター: 日本対がん協会 北見 知美	
	講演① 支え“る／られる”を変えていく  講師 谷島 雄一郎 氏 ダカラソククリエイト 発起人・世話人 / カラクリLab. オーナー 大阪ガスネットワーク株式会社 事業基盤部 コミュニティ企画チーム	講演② 依存と自立、ふたつの支え  講師 大橋 洋平 氏 がんを生きる緩和ケア医 (JAあいち海南病院)
14:40 5分	閉会挨拶 日本対がん協会 常務理事 石田 一郎	
15:30	閉場 ブースエリアもクローズ	ロビー 「ありがとうポスト」を設置します あなたの大切な人、医療従事者、あのとき支えてくれたあの人などへ、いま改めて伝えたい感謝のことは是非「ありがとうポスト」へ投函ください。いただいた感謝のことは、後日がんサバイバー・クラブのWEBサイトに皆さんと共有させていただきます。 